

平成18年

防災功労者内閣総理大臣表彰

平成18年9月

内閣府政策統括官（防災担当）

平成18年防災功労者内閣総理大臣表彰

表彰式及び記念パーティー一次第

1 日 時 平成18年9月6日(水)

11:00~12:30

2 場 所 内閣総理大臣官邸(大ホール等)

3 表彰式次第

(開式) 11:00

- (1) 内閣総理大臣あいさつ
- (2) 内閣総理大臣表彰状授与
- (3) 受賞者代表謝辞

(閉式) 11:20

4 記念写真撮影 11:25

5 記念パーティー

(開始) 11:30

- (1) 主催者あいさつ・乾杯
- (2) 祝辞

(終了) 12:30

平成 18 年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

○ 個 人

〔防災体制の整備〕

立命館大学教授

土 岐 憲 三

(京都府)

(財) 高度情報科学技術研究機構参与

藤 城 俊 夫

(茨城県)

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(平成十七年 J R 西日本福知山線列車事故防災活動)

濱 崎 節 美

(兵庫県)

○ 団 体

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(三宅島噴火における消防団の災害出動)

三宅村消防団

(東京都)

(平成十七年台風第 14 号における消防団の災害出動)

宮崎市消防団

(宮崎県)

宮崎市高岡消防団

(宮崎県)

椎葉村消防団

(宮崎県)

都城市高崎消防団

(宮崎県)

(平成十七年における災害警備活動)

兵庫県警察突発重大事案対策本部

(兵庫県)

福岡県警察災害警備本部

(福岡県)

(三宅島噴火及び新島・神津島近海地震における災害派遣活動)

陸上自衛隊第一師団災害派遣部隊

(東京都)

・ 同配属部隊・同支援部隊

海上自衛隊横須賀地方隊災害派遣部隊・

(神奈川県)

同支援部隊

航空自衛隊航空救難団

(埼玉県)

(平成十七年 J R 西日本福知山線列車事故救助活動)

日本スピンドル製造株式会社

(兵庫県)

大阪市消防局

(大阪府)

堺市高石市消防組合消防本部

(大阪府)

枚方寝屋川消防組合消防本部

(大阪府)

尼崎市消防局

(兵庫県)

神戸市消防局

(兵庫県)

〔防災体制の整備〕

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会

(東京都)

加古川グリーンシティ防災会

(兵庫県)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏名 (年齢)	とき けんぞう 土岐 憲三 (68歳)
住 所	京都府京都市左京区
職 業	立命館大学教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、中央防災会議に設置された東南海・南海地震等に関する専門調査会の座長を始め、数々の専門調査会でその幅広い知見に基づき防災行政に貢献した。</p> <p>また、文化財防災学の創始者として、災害時の文化財保護対策の推進に大きく貢献した。</p> <p>さらに、長年、大学教授として地震工学についての教育、啓発活動を通して防災意識の向上についても貢献している。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名 (年 齡)	ふじ しろ とし お 藤 城 俊 夫 (65歳)
住 所	茨城県水戸市
職 業	財団法人高度情報科学技術研究機構 参与
功 績 の 概 要	同氏は、原子力防災の第一人者であり、原子力安全委員会に設置された原子力発電所等周辺防災対策専門部会の部会長代理として、各種とりまとめに多大に貢献した。 また、長年、原子力安全委員会の緊急事態応急対策調査委員として、原子炉工学の専門的な立場から、中心的な役割を果たした功績は多大である。

功 績 概 要

個人 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
氏 名 (年 齡)	はま さき せつ み 濱崎 節美 (48歳)
住 所	兵庫県尼崎市
職 業	無職
功 績 の 概 要	同氏は、平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故に際し、二次災害の巻き添えとなる可能性があったにもかかわらず、事故発生直後、非常ボタンを押すことに加え、対向路線に見えた特急電車に対し、両手を頭上で繰り返し交差して停車合図をすることにより電車を停止させ、二次災害の防止に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 厅
名 称	三宅村消防団
所 在 地	東京都三宅島三宅村
代 表 者	ひら まつ かず なり 団長 平 松 一 成
功 績 の 概 要	同消防団は、三宅島噴火発生時において、島民の避難誘導や集落の警戒に当たるとともに、平成12年9月2日から4日の間に実施した全島避難においては、島内全戸を巡回し避難遅れ者の確認及び電気、L P ガス等の安全確認を行うなど、同島における災害対処に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消防庁・国土交通省
名 称	宮崎市消防団
所 在 地	宮崎県宮崎市
代 表 者	おなかのりただ 団長 尾 中 代 傳
功 績 の 概 要	同消防団は、平成17年9月に九州を襲った台風14号の影響による集中豪雨に際し、3日間にわたり延べ2,530名を動員し、強風と豪雨という危険な状況をも顧みず、水位観測、警戒、水防工法の実施、避難誘導、孤立住民の救助等を行い、死者を出すことなく、被害の軽減に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 厅
名 称	宮崎市高岡消防団
所 在 地	宮崎県宮崎市
代 表 者	よし だ みつ お 団長 吉田光男
功 績 の 概 要	同消防団は、平成17年9月に九州を襲った台風14号の影響による集中豪雨に際し、3日間にわたり延べ492名を動員し、強風と豪雨という危険な状況をも顧みず、水位観測、警戒、水防工法の実施、避難誘導、孤立住民の救助等を行い、死者を出すことなく、被害の軽減に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	椎葉村消防団
所 在 地	宮崎県東臼杵郡椎葉村
代 表 者	おまえみつる 団長 尾前満
功 績 の 概 要	同消防団は、平成17年9月に九州を襲った台風14号の影響による集中豪雨に際し、15日間にわたり延べ1,288名を動員し、一時は村内全域が孤立化するという非常に困難な状況の下、昼夜にわたりライフラインの確保や住民の避難誘導、人命救助活動を行い、被害の軽減に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	都城市高崎消防団
所 在 地	宮崎県都城市
代 表 者	かじ や たつ とし 団長 鍛屋辰年
功 績 の 概 要	同消防団は、平成17年9月に九州を襲った台風14号の影響による集中豪雨に際し、5日間にわたり延べ301名を動員し、強風と豪雨という危険な状況をも顧みず、昼夜にわたり土のう積みや水閘門操作等の水防活動を行うとともに、自主避難を呼びかける広報活動、被災した住民の避難誘導、人命救助活動を行った。また、台風通過後の排水作業や土砂の排出作業を実施し、被害の軽減や地域の復旧に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	兵庫県警察突発重大事案対策本部
所 在 地	兵庫県神戸市中央区
代 表 者	すえいせいし 本部長 末井誠史
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故発生後迅速に設置され、4日間にわたり延べ約6,800名により、24時間体制での統括・運用が図られた。</p> <p>被害情報の収集、特別派遣部隊を導入しての効果的な救助・捜索活動、きめ細やかな被害者支援対策や地域安全対策を行い、被害の局限化に多大に貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	福岡県警察災害警備本部
所 在 地	福岡県福岡市博多区
代 表 者	との かわ いち ろう 本部長 殿 川 一 郎
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成17年3月の福岡県西方沖地震発生後迅速に設置され、74日間にわたり延べ約10,300名により、24時間体制での統括・運用が図られた。</p> <p>被害の大きかった玄界島に広域緊急援助隊等を投入し、被害情報の収集、要救助者の確認活動・避難誘導及び積極的な現場広報を行うとともに、長期間にわたり、各地域において交通対策、被災者対策、被災地の警戒等の災害警備活動を的確に実施し、治安の維持や混乱の終息に多大に貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 庁
名 称	陸上自衛隊第一師団災害派遣部隊・同配属部隊・同支援部隊
所 在 地	東京都練馬区
代 表 者	さん だ かつ み 師団長 三 田 克 巳
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、三宅島噴火及び新島・神津島近海地震に際し、発災直後より人員・物資の輸送、給水・給食等避難住民の生活を支援し、医官・機材を輸送するほか、航空偵察・地上偵察等情報収集を実施した。</p> <p>さらに、噴火による降灰対応として、居住地域等の降灰除去及び泥流の防止のための土のう積み作業等を実施し、人命と財産の被害防止に寄与したほか、偵察要員派遣や火山観測支援等、延べ12,600名余に上る支援を実施し、被害の局限化に多大に貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 庁
名 称	海上自衛隊横須賀地方隊災害派遣部隊・同支援部隊
所 在 地	神奈川県横須賀市
代 表 者	あら かわ ぎょう いち 地方総監 荒 川 堯 一
功 績 の 概 要	同部隊は、三宅島噴火及び新島・神津島近海地震に際し、発災直後から平成13年10月3日までの間、人員延べ24,314名、艦艇延べ387隻、航空機延べ86機により、救援物資等の搬送、避難船舶の派遣及び火山観測・監視・待機並びに洋上待機の任務を適時適切に実施し、被災者の生活及び安全の確保に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 庁
名 称	航空自衛隊航空救難団
所 在 地	埼玉県狭山市
代 表 者	さい とう はる かず 司令 齊 藤 治 和
功 績 の 概 要	同部隊は、三宅島噴火及び新島・神津島近海地震に際し、平成12年9月6日から平成13年10月3日までの間、航空機による火山活動の観測支援及び人員、物資の空輸を迅速かつ的確に実施し、火山監視体制及びライフラインを維持するための重要な役割を果たす等、同島における災害対処に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	日本スピンドル製造株式会社
所 在 地	兵庫県尼崎市
代 表 者	さいとうじゅうない 代表取締役社長 齊藤十内
功 績 の 概 要	同社は、平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故に際し、社長の指揮の下、操業を一時停止し会社を挙げて車内救助、車外救助、負傷者等の安全な場所までの救出、救護、病院搬送等の救助活動を行い、引火による二次災害の可能性がある中、防災器具を持ち込み手動で作業を実施するなど、事故対策に多大に貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	大阪市消防局
所 在 地	大阪府大阪市西区
代 表 者	もり ぐち せい た ろう 局長 森 口 清 太 郎
功 績 の 概 要	同消防局は、平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故に際し、車両が脱線し、爆発の危険性もある状況の下、緊急消防援助隊として現場対応に当たり、昼夜にわたり身の危険も顧みず、高度な技術を駆使して救助活動を積極果敢に実施し、多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 厅
名 称	堺市高石市消防組合消防本部
所 在 地	大阪府堺市
代 表 者	たま さき かずみ 消防長 玉崎 和実
功 績 の 概 要	同消防本部は、平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故に際し、車両が脱線し、爆発の危険性もある状況の下、緊急消防援助隊として現場対応に当たり、昼夜にわたり身の危険も顧みず、高度な技術を駆使して救助活動を積極果敢に実施し、多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	枚方寝屋川消防組合消防本部
所 在 地	大阪府枚方市
代 表 者	えの もと し ろう 消防長 檻 本 志 郎
功 績 の 概 要	同消防本部は、平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故に際し、車両が脱線し、爆発の危険性もある状況の下、緊急消防援助隊として現場対応に当たり、昼夜にわたり身の危険も顧みず、高度な技術を駆使して救助活動を積極果敢に実施し、多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 厅
名 称	尼崎市消防局
所 在 地	兵庫県尼崎市
代 表 者	よし だ ひろし 局長 吉田 寛
功 績 の 概 要	同消防局は、平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故に際し、車両が脱線し、爆発の危険性もある状況の下、地元消防本部として現場対応等に当たり、昼夜にわたり身の危険も顧みず、高度な技術を駆使して救助活動を積極果敢に実施し、多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 厅
名 称	神戸市消防局
所 在 地	兵庫県神戸市中央区
代 表 者	ひら い けん じ 局長 平井 健二
功 績 の 概 要	同消防局は、平成17年4月のJR西日本福知山線列車事故に際し、車両が脱線し、爆発危険もある状況の下、県内応援隊として現場の対応に当たり、昼夜にわたり身の危険も顧みず、高度な技術を駆使して救助活動を積極果敢に実施し、多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 厅
名 称	特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会
所 在 地	東京都世田谷区
代 表 者	しも むら まこと 代表理事 下 村 誠
功 績 の 概 要	<p>同協会は、防災意識の向上、災害に対する情報を共有する意識を醸成し、災害救援ボランティア活動の経験をいかすことのできる地域のリーダーを一人でも多く育成するしくみを構築するとともに、年に数回、一般市民への活動報告会を開催し、防災思想の普及に大きく貢献している。</p> <p>また、災害発生時には、ボランティア隊の派遣を行い、被災者の自立支援等にも尽力している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関係省庁	消防庁
名 称	加古川グリーンシティ防災会
所 在 地	兵庫県加古川市
代 表 者	おおにしおかく 会長 大西賞典
功績の概要	同団体は、平成7年の阪神・淡路大震災後にクローズアップされた「マンションの災害対策」に取り組み、「近所付き合いが薄い」という問題の解決のため、広報誌やコミュニティ放送等の情報提供設備を構築するとともに、地域の繋がりを作るための住民参加型の防災活動行事を実施しており、防災思想の普及に多大な貢献をしている。

本件連絡先

内閣府政策統括官（防災担当）付防災総括担当

〒100-8969

東京都千代田区霞が関1-2-2

中央合同庁舎第5号館3階

℡ 代表 03-5253-2111 内51201・51207

中山・中西



内閣府

郵便番号 100-8969

東京都千代田区霞ヶ関1-2-2

中央合同庁舎第5号館3階

内閣府政策統括官（防災担当）

電話 (03) 5253-2111 (大代表)

URL <http://www.bousai.go.jp>